

お客様への安全・安心対策として 浴槽水検査を行いましょー！！

【レジオネラ症は死亡者が発生する感染症です！！】

レジオネラ症は、レジオネラ属菌が原因で起こる感染症です。

急激に重症になり死亡することもある「レジオネラ肺炎」は、
乳幼児や高齢者、病気の人など 抵抗力が低下している人 や、
健康な人でも体力が落ちている人 などが発病しやすいと言われています。

感染源：エアロゾル

レジオネラ症は、レジオネラ属菌[※]を含むエアロゾルを吸い込むことで感染します。

※レジオネラ属菌とは

土の中や河川、湖沼など自然界に生息しています。アメーバなどの原生動物に寄生し、20～50℃で増殖します。
我々の身の回りでは、冷却塔水や循環式浴槽水などで多く検出されます。

【浴場施設の水質検査】

☆ レジオネラ属菌（微生物検査）

☆ 浴槽水3項目検査

- ・大腸菌群
- ・過マンガン酸カリウム消費量
- ・濁度



お問い合わせは下記のTEL・FAX・メール・HPよりお待ちしております！

厚生労働省登録検査機関(食品衛生法)
ISO/IEC 17025:2017 認定試験所 認定番号 87001
株式会社日本食品エコロジー研究所
〒651-0082 神戸市中央区小野浜町1番9号
TEL. (078)321 - 2311 FAX. (078) 321 - 3066

ホームページからのお問い合わせも受け付けております。

E-mail: info@jife.co.jp
URL : <http://jife.co.jp>



■ レジオネラ属菌汚染防止のための施設・機器管理のチェックポイント



貯湯タンク	<ul style="list-style-type: none"> ●湯温を常に60℃以上に保つ ●お湯を滞留させない
循環ろ過装置	<ul style="list-style-type: none"> ●ろ材の種類を問わず、ろ過装置自体がレジオネラ属菌の供給源とならないように、1週間に1回以上消毒を徹底する ●1週間に1回以上逆洗して汚れを排出する ●ヘアークッチャーを設置し、清掃する
気泡発生装置・ジェット噴射装置・打たせ湯・シャワー等	<ul style="list-style-type: none"> ●打たせ湯・シャワーなどには、連日使用型循環式浴槽水を使用しない ●空気取入口から土埃と一緒にレジオネラ属菌が入るのを防ぐ <p>※連日使用型循環浴槽水 (24時間以上完全換水しないで循環ろ過している浴槽水)</p>
露天風呂	<ul style="list-style-type: none"> ●露天湯が配管を通じて内湯に混じらないようにする ●洗い場を設けない ●満ぱいの状態を保ち、溢水させ浮遊物等を除去し、清潔に保つ

■ レジオネラ属菌汚染対策 Q&A

※東京都健康安全研究センター レジオネラQ&A 参照

Q 検査でレジオネラ属菌が検出された場合はどのような対応が必要ですか？

A 「新版・レジオネラ症防止指針」では、水質検査でレジオネラ属菌が検出された場合、エアロゾルを直接吸入する可能性の大きさによって、次のような対応が示されている。

(1)エアロゾルを直接吸入する可能性が低い場合、

100CFU/100mL以上検出された場合は直ちに清掃、消毒等の対策を行い、対策実施後に検出限界以下(10CFU/100mL未満)であることを確認する。

(2)エアロゾルを直接吸入する可能性が高い場合

目標値を10CFU/100mL未満とする。レジオネラ属菌が検出された場合は直ちに清掃、消毒等の対策を行い、対策実施後に検出限界以下(10CFU/100mL未満)であることを確認する。

Q 熱処理は有効ですか？

A レジオネラ属菌は大腸菌と同じくグラム陰性菌であるので熱に弱い。

60℃以上の高温では5分以内に殺菌されるという実験結果がある。

また、実際の施設の循環式給湯設備内にレジオネラ属菌が定着し、貯湯槽の清掃だけでは完全に除去することができなかった事例で、給湯水温度を70℃に上げて20時間循環させる加熱処理を併用したところ、レジオネラ属菌に対して十分な殺菌効果が認められた。

